



2018 年度秋学期授業見学

今年度全学FD推進委員会が取り組んでいる「授業見学」を、春学期に引き続き実施しました。授業見学は授業の魅力向上のため、授業での取り組みを紹介しています。

秋学期は「共通自由特別講義—リーダーシップ入門」(担当:経営学部 中村恒彦先生)科目において11/22、29の2回実施しました。この授業は、今年度開講された新しい科目です。

この号の内容

- 1 2018 年度秋学期授業見学
- 2 2018 年度春学期授業改善のための「学生による授業評価」アンケート実施報告
- 3 2018 年度 SA・TA 制度導入科目

中村 恒彦教授「共通自由特別講義—リーダーシップ入門」 —SA とつくる新しい科目—

1. 基本情報

講義科目: 共通自由特別講義—リーダーシップ入門

担当教員: 中村 恒彦(経営学部 教授)

実施日時: 11 月 22 日(木)1 限(9:20-10:50)、11 月 29 日(木)1 限

場 所: 2-203

受講者数: 30 名

講義の到達目標: 大学生が持ち合わせておくべき基本的能力

①思考を高める力(批判的思考)、②チームワークを育成する力(チームビルディング)、③身近な問題に挑戦する力(リーダーシップ)の3つの能力を身につける

2. 見学時の講義テーマ: 問題発見解決プロジェクト—学内のボトルネック—

3. 講義の流れ (90 分講義)

11 月 22 日

- ①グループワーク(15 分)
 - ・アイスブレイク
 - ・役割分担決定
- ②講義(20 分)
 - ・ボトルネックについて
- ③グループワーク(30 分)
 - ・身近なボトルネックを探す
- ④考察、まとめ(25 分)

11 月 29 日

- ①前回の振り返りと今回のテーマ説明(5 分)
- ②グループワーク(65 分)
 - ・アイスブレイク
 - ・インタビュー対象希望まとめ
 - ・質問内容作成
- ③インタビューロールプレイ(20 分)



4. 講義のポイント

グループワークの工夫として、以下のような点が工夫されていました。

- ・毎回授業の導入でアイスブレイクを行い、グループワークを活発にする環境づくりに努めている。
- ・グループメンバーの役割を固定しないことで、メンバーのグループワークへの関与を促している。
- ・SA が各グループを巡回しフォローすることにより、グループワークがスムーズに行える。



中村先生

担当教員と SA が、授業の内容を共有できていることで、授業進行において多少のイレギュラーが生じていても、SA が全体の流れをフォローする環境ができていて、担当教員は受講生にしっかりと目を向けることができるので、理解・進捗を丁寧に管理、調整できるようになっていました。

SA の活躍もあり、受講生が積極的に参加する活発なグループワークが印象的な、活気あふれる授業となっていました。



授業の様子

5. 授業担当者、SAのインタビュー

●授業担当中村先生のお話

授業内容を事前に SA に説明し、質問や意見を受けることで、授業における理解度が確認できています。その内容を授業時に反映し、授業運営ができるので、受講生の理解度が高くなっています。

グループやクラス単位でのワークを、SA が積極的にフォローしてくれるため、受講生の意識がバラバラになることはありません。

●SA(経営学部4年次生・2名)のお話

SA の活動を通して、自身の成長につながっていると感じています。

自分がわからないことは、受講生も理解しづらい内容の可能性が高いため、授業の事前確認時に自分がわからないことは担当教員への質問を行う、事前に学習しておくなどの準備をするようにしています。

受講生が授業で実施したワークを「自分たちが作った」ことを実感できるようにフォローすることを心がけています。

11月29日の授業で学んだことを踏まえて、12月に受講生のグループが学習支援センターなどの学内施設へインタビューへ行き、各所管が抱えるボトルネックについて色々と話を聞きました。そのインタビューを元にした考察結果を授業内でプレゼンテーションしました。



ご協力ありがとうございました。



2018 年度春学期 授業改善のための 「学生による授業評価」アンケート実施報告

授業改善のための「学生による授業評価」の目的は、授業に対する学生の率直な意見を聞き、学生と教員が協力して「わかりやすく質の高い授業」を作りあげ、教育改革(カリキュラム改革)等を進めていくことにあります。さらに、学生の学習活動に対する自覚と向上を促し、担当教員においては学生の授業への取り組みの結果を受けて、より良い授業とするための検討材料を提供することを目指しています。

本学における学生による授業評価の取り組みは、1996 年度に文学部により「試行」されて以後、学部単位で徐々に拡大、実施されてきました。

2002 年度秋学期から全学的に実施することになり、2013 年度からは担当教員が学生の学習実態を把握し、授業の問題点を抽出して授業にフィードバックできるよう改訂を行いました。

● 実施状況

実施期間	: 6月25日(月)～7月14日(土) 〔臨時休講のため期間延長〕
実施率	: 実施対象科目 713 科目中 689 科目実施 (実施率 96.6%)
回答率	: 49.6%(回答者数/対象科目履修者数)
所見提出率	: 62.1%

● 集計結果の公開について

科目毎の授業評価をクロス集計した結果を、本学ホームページで公開しています。
(詳細集計は学内からのみアクセス可能)

アンケート結果公開 URL: <http://www.andrew.ac.jp/info/fd/questionnaire.html>

2003 年度以降は毎年度、春学期、秋学期の学期ごとに実施することとし、その結果を「学生による授業評価報告」としてホームページ上に掲載するとともに冊子体にまとめ、図書館等に備え学生の自由な閲覧に供しています。



2018年度 SA・TA 制度導入科目

SA

学部	科目名	教員名
経済	演習Ⅲ <通期>	吉田 恵子
	入門演習 26 <春>	吉田 恵子
	コース演習 25<秋>	吉弘 憲介
社会	社会学科基礎演習<春>	木島 由晶
	社会福祉学基礎演習<通期>	黒田 隆之
	社会福祉フィールドワーク<通期>	竹内 靖子
経営	国際経営論 A<春>	櫻井 結花
	国際経営論 B<秋>	櫻井 結花
	演習3<通期>	信夫 千佳子
	共通自由特別講義-リーダーシップ入門<秋>	中村 恒彦
国際教養	演習3・4	小池 誠
法	基礎演習 <通期>	江藤 隆之
	基礎演習 <通期>	田中 志津子

TA

学部	科目名	教員名
経済	経済学 02	木村 佳弘

発行日 2019年1月31日
 発行 桃山学院大学 全学FD推進委員会 事務局
 〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1
 電話: 0725(54)3131
 FAX: 0725(54)3203
 電子メール: zfd-momo@andrew.ac.jp